



明るい平和と繁栄を念願 戦没者追悼式

町主催の「戦没者追悼式」が8月20日、角田農村環境改善センターで行われ、ご遺族や関係者など約80人が参列し、町出身の戦没者411人の御霊に祈りを捧げました。黙とうの後、「栗山町の明るい平和と繁栄にご加護を賜りますよう念願します」と式辞を述べ、栗山詩吟愛好会有志による献詩朗詠に続き、全員で献花を行い、世界の恒久平和を祈りました。また、会場には町民に協力を呼びかけて折られた千羽鶴も展示されました。



残り少ない夏を楽しむ 角田地区で盆踊り大会を開催

角田地区まちづくり協議会が主催する角田盆踊り大会が8月21日、泉徳苑駐車場広場で開催されました。角田地区では平成22年以降盆踊りが行われていないことから、子どもたちに夏の思い出を作ってもらい、地域を盛り上げようと開催。当日は、角田小学校の児童による傘踊りや子ども盆踊りなどが行われました。また、盆踊り終了後には、子ども花火大会と泉徳苑花火大会が行われ、来場者は残り少ない夏を楽しんでいました。

故国の繁栄と平和を念ずる 中国人殉難者供養会

中国人殉難者供養会が8月7日に日出の二岐共同墓地で行われ、関係者約30人が参列しました。供養会は、第二次世界大戦末期に角田炭鉱での厳しい労働によって尊い命を失った中国人の方々の霊を追悼しようと、昭和47年から実施。実行委員長の椿原紀昭町長は「今日の日中友好のかげに、多くの中国人殉難者の方々の犠牲があることを忘れることなく、安らかなご冥福を祈り、併せて故国の繁栄と平和を念じます」と慰霊の言葉を述べ、参列者全員で冥福を祈りました。



夏のひとときを楽しむ 継立納涼盆踊り

継立納涼盆踊り（継立町内連合会・継立商工振興会・継立子供育成会が主催）が8月10日、南部公民館駐車場で行われました。当日は、「子ども仮装盆踊り大会」と「大人仮装盆踊り大会」が行われ、浴衣姿やスパイダーマン、「ワンピース」の麦わらのルフィなど人気アニメキャラクターの衣装をまとい、子ども盆踊り唄などの演奏と太鼓の音色にあわせて踊り、会場は大いに賑わいました。また、納涼ビアガーデンも同時に行われ、夏のひとときを楽しみました。



アイデアをカタチに くりやまものづくりサマースクール

町では、平成31年度を目途に「ものづくり DIY 工房」の建設に向けた事業をスタートしています。その一環として、7月30日から北海道介護福祉学校で3Dプリンターなど最新の工作機械を使って体験する「くりやまものづくりサマースクール」が行われました。31日は町民の親子4組を対象としたワークショップを開催。担当スタッフの説明を受けながら、親子で協力して「木製時計」を作りました。参加者はアイデアを出してカタチにできた時計を見て満足していました。



地元産の農産物が並ぶ JAそらち南農業祭

J Aそらち南（北輝男代表理事組合長）主催による「第2回農業祭」が8月6日、J Aそらち南倉庫・駐車場で行われました。町民やJA組合員への感謝とお礼、地域への恩返しとして昨年に引き続き開催。会場内では地元産の農産物が並び、野菜の詰め放題では、多くの方々がタマネギやジャガイモを袋いっぱいに入っていました。その他、子ども縁日やステージショー、餅まきなどたくさんのイベントも行われ、大勢の来場者で賑わいました。

笑って延ばそう健康寿命 笑いヨガ教室

笑う動作とヨガの呼吸法を合わせた笑いヨガ教室が7月28日、カルチャープラザ「Eki」で開かれました。講師に笑いヨガティーチャーの植田美之さん（みゆき）を招き、町民約30人が参加しました。「笑うことで呼吸が深くなり、免疫力が上がります」と植田さん。参加者はさまざまなパターンの笑いヨガを体験し、会場には笑顔の輪が広がりました。笑いヨガ教室は10月まで毎月開催予定。詳しくは町地域包括支援センター（73-2255）までお問い合わせください。



ビー玉迷路ができた 開拓記念館で夏休み特別企画

子どもたちの交流の場づくりを目的として8月4日、作って遊ぶ「ビー玉迷路」が開拓記念館で行われました。株式会社日東総業（山本秀一代表取締役社長）が主催し、小学1年生から5年生までの児童25人が参加。同館職員や担当スタッフの説明を受けながら、壁用の木にボンドを塗りベニヤ板に固定してから、仕切りを付けて色を塗っていきました。参加した堀駿介くん（栗山小5年）は「壁用の木を固定するのが難しかったけど、完成できて良かった」と話していました。



匠

まつり

木

のぬくもりや、モノ作りの楽しさを子どもたちに知ってもらおうと「くりやまの匠たち」(村中森穂子代表)が主催する「匠まつり2016」が8月6日、商店街イベント広場で行われました。今年で記念すべき10回を迎え、快晴の中、町内外から1000人を超える親子連れなどが集まりました。会場では釘早打ち大会や餅まきなどのステージイベントのほか、SLやブルドーザなどたくさんさんの工作キットを販売。子どもたちは匠の手ほどきを受けながら、金づちやくぎ、接着剤を使って楽しそうに組み立てていました。丸太切り大会に参加した後藤有志くん(栗山小3年)は「初めて丸太切り大会に挑戦しました。コツをつかむまでは切るのが難しかったけど、最後まで切ることができてうれしかったです」と笑顔で話していました。

